



飲料ビジネスの未来を創造します

Coca-Cola West

コカ・コーラウエスト株式会社



株主・投資家のみなさまへ

第53期 中間事業報告書 (第2四半期)

平成22年1月1日から平成22年6月30日まで



証券コード:2579

経営理念

Coca-Cola West

ーコカ・コーラウエストグループ経営理念ー

飲料ビジネスの未来を創造します

私たちは、

- ◆ お客さまに喜んでいただける商品・サービスをお届けします
- ◆ 社員一人ひとりの働きがいと生活を大切にします
- ◆ 継続的な成長により株主の信頼や期待に応えます
- ◆ 社会や環境とのつながりを育みます

目 次

経営理念	1	地域社会貢献活動／地域環境推進活動	8
株主・投資家のみなさまへ	2	連結財務諸表	9
重点ブランドの強化	3	会社情報	11
主な新商品／リニューアル商品	5	株主優待制度	12
主なキャンペーン／プロモーション	6	株式の状況	13
トピックス	7	株主メモ	14

株主・投資家のみなさまへ

当第2四半期(平成22年1月1日から平成22年6月30日まで)の

経営概況と業績

当第2四半期における清涼飲料業界は、雇用・所得環境の悪化に伴う消費者の節約志向の強まりや、業界の競争激化により、引き続き厳しい状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは、“営業の変革”、“SCM(サプライチェーンマネジメント)の変革”、“お客さま起点への行動変革”の“3つの変革”を徹底して実行し、収益目標を必ず達成することを経営方針としています。厳しい経営環境においても着実に利益を確保できる「筋肉質で強固な企業集団」を目指し、グループ一丸となって種々の課題に取り組んでおります。

まず、平成22年1月1日付で、当社グループにおいてエリア別に販売および物流を担当していた連結子会社3社を、「ウエストベンディング株式会社」、「西日本ビバレッジ株式会社」および「コカ・コーラウエストリテールサービス株式会社」の3社に事業別に再編しました。これにより、さらなる営業・販売機能の強化、および業務の効率化などによるコストの削減を推進しております。

営業面につきましては、コカ・コーラシステムは清涼飲料業界で「2010 FIFA ワールドカップ 南アフリカ大会」の唯一のオフィシャルパートナーであり、当社グループはこの大会を積極的に活用して様々な活動を実施しました。具体的には、FIFA ワールドカップと「コカ・コーラ」、「アクエリアス」を組み合わせたプロモーションの実施や FIFA ワールドカップ限定商品の導入などにより、売上の拡大を図りました。また、お客さまの健康志向の高まりにより、カロリーゼロ飲料市場は拡大が続けています。炭酸飲料、茶系飲料、ミネラルウォーターなど、多種多様なカロリーゼロ商品を市場に投入し、多くのお客さまにご愛飲いただいております。

このように、これまでの重点ブランド「コカ・コーラ」、「コカ・コーラ ゼロ」、「ファンタ」、「ジョージア」、「爽健美茶」、「アクエリアス」(以上、ビッグ6ブランド)に今年は緑茶の「綾鷹」、ミネラルウォーターの「い・ろ・は・す」を加えた8つのブランドに投資を集中し、売上拡大に向け、販売強化を図っています。

製造面につきましては、当社グループにおいて製造を担当するコカ・コーラウエスト大山プロダクツ株式会社の大山工場にて「い・ろ・は・す」の280mlPETボトルの生産を5月から開始し、PETボトルの内製化による原価の低減、物流費などのコスト削減を図っております。また、コカ・コーラウエストプロダクツ株式会社の明石工場では、生産ラインの設備拡充により、SCMにおける生産性の向上とコスト削減を進めています。

結果、当第2四半期連結ベースでの業績は、売上高は前第2四半期に比べ80億5百万円減少し、1,691億8千2百万円(前年同期比4.5%減)となりました。営業損益は前第2四半期に比べ26億2千7百万円改善し、12億8千万円の営業利益、経常損益は前第2四半期に比べ25億5千2百万円改善し、14億3千8百万円の経常利益、四半期純損益は前第2四半期に比べ25億1千9百万円改善し、8億1千万円の四半期純利益となりました。

配当金について

平成22年12月期の配当金につきましては、平成22年12月期の業績予想および今後の経営環境等を総合的に勘案し、中間配当金を1株当たり20円、期末配当金(予想)を1株当たり20円といたしました。これにより年間配当金(予想)は、1株当たり40円となります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

吉松民雄



重点ブランドの強化

重点ブランドは、昨年までのビッグ6ブランド、「コカ・コーラ」、「コカ・コーラ ゼロ」、「ファンタ」、「ジョージア」、「爽健美茶」、「アクエリアス」に、今年^{あやたか}は「綾鷹」、「い・ろ・は・す」を加えて販売強化を図っています。



あやたか
綾鷹 上煎茶

急須でいれたような緑茶本来の“にごりのある色味”と“舌に旨みが残るふくよかな味わい”を実現した、プレミアム緑茶「綾鷹」は、お客さまから緑茶飲料の中で高い評価をいただいています。パッケージやキャンペーンを刷新し、緑茶飲料におけるブランドの確立を図っています。



「急須でいれたお茶」がもたらす価値の伝達

まずは、より多くのお客さまに「綾鷹」をお楽しみいただくために、お試し缶の配布や店頭試飲会などを実施しました。さらに、お弁当・惣菜コーナーでのお茶コーナーの設置、他の重点ブランドとの2本セット販売など、重点ブランドの1つとして「綾鷹」の露出機会の拡大を図りました。

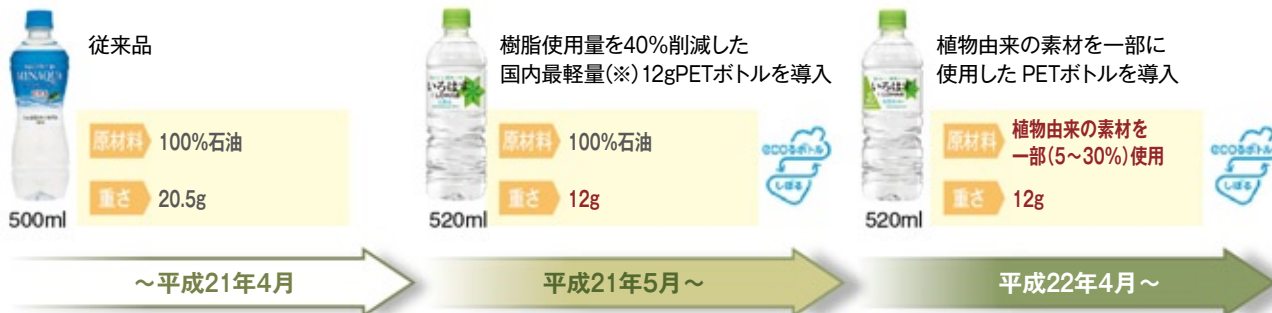


お弁当お買い上げのお客さまに
お試し缶1本プレゼント



「お弁当+お茶」コーナー

自然環境への負担を軽減



い・ろ・は・す

日本の厳選された森が育んだ天然水「い・ろ・は・す」は、平成21年5月、“おいしい＋環境にいい”をコンセプトとして発売して以来、社会的な環境意識の高まりからお客さまの支持をいただいています。また、平成22年6月7日より1,020ml PETボトル(コンビニエンスストア限定商品)を発売し、280ml PETボトルを含めた3品種で売上拡大を図っています。



SCMにおけるコスト削減に向けた取り組み

当社グループにおいて製造を担当するコカ・コーラウエスト大山プロダクツ株式会社の大山工場にて、「い・ろ・は・す1,020ml PETボトル」の生産を平成22年5月より開始しました。大山工場は当製品の国内唯一の生産工場として全国のボトラーに供給しております。

また、これまで他ボトラーから購入しておりました「い・ろ・は・す280ml PETボトル」の生産も平成22年5月より大山工場にて開始いたしました。生産体制の拡充により、物流費などさらなるコスト削減を進めています。



大山工場



「い・ろ・は・す」生産ライン

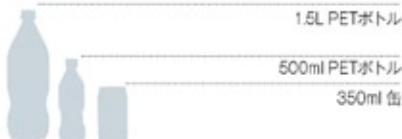
主な新商品／リニューアル商品

4月26日新発売！

**WILD
HEALTH**

コカ・コーラ ゼロフリー

コカ・コーラのおいしさはそのままに、カロリー、糖分、保存料、合成着色料に加え、カフェインもゼロになったもう1つのコカ・コーラ ゼロ登場。



5月10日新発売！

アクエリアス スパークリング

アクエリアスならではの水分補給に適したアイソトニック設計はそのままに、炭酸と3つの成分(アミノ酸、クエン酸、D-リボース)を配合した、カロリーオフで飲みやすいシトラスフレーバーのスポーツ炭酸飲料。



5月31日リニューアル発売！

アクエリアス アクエリアス ビタミンガード

ラベル樹脂使用量を約50%削減し(当社従来品比較)、環境にも配慮したパッケージに変更。人間工学に基づく設計で、握りやすさと弾力性のある握り心地から“エアボトル”と命名。



6月28日新発売！

アクエリアス デイ スタート

アクエリアスならではのスムーズな水分補給とカラダに嬉しい2つの栄養素(カルシウム、ビタミンC)の組み合わせでイキイキとした1日のスタートをサポート。



主なキャンペーン／プロモーション

おいしさ選べるカロリーゼロ

お客さまの健康志向の高まりにより拡大を続けているカロリーゼロ飲料市場。当社グループは「ファンタ ゼロ グレープ」を5月に発売し、「ファンタ」のカロリーゼロ商品の拡充および、お客さまの飲用シーンや季節のテーマに合ったプロモーションの継続的な展開など、販売強化を図りました。



「ファンタ」のカロリーゼロ商品およびカロリーゼロコーナー



お客さまの飲用シーンや季節のテーマに合ったプロモーション

2010 FIFAワールドカップ 南アフリカ大会

コカ・コーラシステムは、この大会のオフィシャルパートナー。「アクエリアス」は、FIFAワールドカップ公式スポーツ飲料。当社グループは、ワールドカッププロモーションの展開や、期間限定商品の発売など、「コカ・コーラ」、「アクエリアス」を中心にワールドカップを最大限活用した販売活動を行いました。



「ボトルTシャツアタル!!」プロモーション
(スーパーマーケット)



「ボトルTシャツアタル!!」プロモーション
(自動販売機)



サッカーボール型 350ml PET ボトル
(期間限定商品)



「アクエリアス」キャンペーン

トピックス

おいしくってロハス「OLO OLO (オロオロ)」

地球にも嬉しい理想のドリンクを目指す新ブランド

ー平成22年6月2日から大阪・神戸の自動販売機で発売ー

当社グループは、チルド飲料「OLO OLO (オロオロ)」を、いつでもどこでも手軽にお買い求めいただける自動販売機で発売し、新たな飲用機会の獲得を目指します。



“Nomig OLO EcOLOgy”
飲みごろエコロジー

おいしくってロハス。

そんな地球にも嬉しい理想のドリンクを目指すオロオロ。

こだわりの素材を、保存料や合成着色料を使用せずに仕上げ、パッケージは環境に配慮した紙容器を使用しています。

そして出来立てのおいしさを、新鮮なままにお届ける冷蔵配送。

“OLO OLO”という名前にはこんな気持ちが詰まっています。

“Nomig OLO(飲みごろ)、EcOLOgy(エコロジー)”



クリーム入り
まるやか
カフェラテ

炭焼き豆の薫り
ほろにが
カフェラテ

とろける味わい
ベルギーチョコの
ショコララテ

ごちそうスムージー
トリプルベリー
ブレンド

ごちそうスムージー
マンゴーバナナ
ブレンド

マニフェスト

1. こだわりの原料のみを
厳選して使用します
2. 保存料および
合成着色料は使用しません
3. 間伐材を利用した環境に優しい
紙容器を使用します
4. スムージーは砂糖不使用
果汁100%相当を使用します
5. コーヒーは環境に配慮した
レインフォレスト・アライアンス
認証コーヒー豆を100%使用します



地域社会貢献活動／地域環境推進活動

株主のみなさまのご理解をいただき、剰余金から一定額を積み立てて活動資金に充当しております地域社会貢献活動および地域環境推進活動についてご報告いたします。



地域社会貢献活動

社会福祉支援

スポーツ活動支援

文化・教育活動支援

地域大型イベント支援

『地域とともに』の基本姿勢のもと、「社会福祉支援」、「スポーツ活動支援」、「文化・教育活動支援」、「地域大型イベント支援」の4つの活動を柱に、青少年の健全育成の支援や、地域とのより密接なコミュニケーションを進めています。

当第2四半期の主な活動としては、特別支援学校への教材贈呈、小学校への一輪車贈呈、さわやかクラシックコンサートの開催、市村自然塾九州の支援などを実施し、地域のみなさまにご好評をいただいています。



さわやかクラシックコンサート
“ウィーン・リング・アンサンブル
ニューイヤーコンサート”



市村自然塾九州



地域環境推進活動

水資源保全活動

地域美化活動

『人も環境も、さわやかに。』をスローガンに、飲料ビジネスの未来を創造する企業として、地球環境保全を重要課題のひとつと認識し、持続可能な社会の実現に貢献しています。

当第2四半期の主な活動としては、かけがえのない大切な資源である水を使用する企業として6ヵ所の工場近郊の“さわやか自然の森”での森林保全活動の実施、地域と一体となって取り組む美化活動など、様々な活動を行っています。



“さわやか自然の森”森林保全活動



地域美化活動

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前期末 平成21年12月31日現在	当第2四半期末 平成22年6月30日現在	科 目	前期末 平成21年12月31日現在	当第2四半期末 平成22年6月30日現在
〈資産の部〉			〈負債の部〉		
流動資産：			流動負債：		
現金及び預金	20,634	19,199	支払手形及び買掛金	17,309	19,593
受取手形及び売掛金	21,630	22,414	リース債務	2,645	2,226
有価証券	51,335	56,035	未払法人税等	783	844
商品及び製品	22,861	24,359	未払金	13,925	16,178
仕掛品	0	139	その他	6,440	5,390
原材料及び貯蔵品	2,055	2,404			
その他	17,779	15,718	流動負債合計	41,105	44,233
貸倒引当金	△ 131	△ 125			
流動資産合計	136,164	140,144	固定負債：		
固定資産：			社債	50,000	50,000
有形固定資産：			リース債務	2,050	1,549
建物及び構築物（純額）	34,907	34,843	退職給付引当金	5,512	5,510
機械装置及び運搬具（純額）	19,010	20,131	役員退職慰労引当金	16	8
販売機器（純額）	23,905	23,375	負ののれん	622	414
土地	53,006	52,796	その他	4,694	4,153
リース資産（純額）	4,605	3,690			
建設仮勘定	385	—	固定負債合計	62,897	61,637
その他（純額）	1,801	1,625	負債合計	104,002	105,871
有形固定資産合計	137,622	136,463	〈純資産の部〉		
無形固定資産：			株主資本：		
のれん	2,112	1,481	資本金	15,231	15,231
その他	4,344	4,274	資本剰余金	109,072	109,072
無形固定資産合計	6,457	5,755	利益剰余金	124,174	122,885
投資その他の資産：			自己株式	△ 25,759	△ 25,760
投資有価証券	27,658	26,594	株主資本合計	222,718	221,429
前払年金費用	11,606	10,853	評価・換算差額等：		
その他	7,753	7,546	その他有価証券評価差額金	23	△ 404
貸倒引当金	△ 445	△ 387	評価・換算差額等合計	23	△ 404
投資その他の資産合計	46,573	44,608	少数株主持分	74	75
固定資産合計	190,653	186,826	純資産合計	222,816	221,100
資産合計	326,818	326,971	負債純資産合計	326,818	326,971

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 平成21年1月1日から 平成21年6月30日まで	当第2四半期 平成22年1月1日から 平成22年6月30日まで
売上高	177,188	169,182
売上原価	98,222	92,856
売上総利益	78,965	76,326
販売費及び一般管理費	80,311	75,046
営業利益 (△損失)	△ 1,346	1,280
営業外収益	674	773
営業外費用	441	615
経常利益 (△損失)	△ 1,114	1,438
特別利益	165	249
特別損失	1,800	17
税金等調整前四半期純利益 (△損失)	△ 2,748	1,669
法人税等合計	△ 1,042	854
少数株主利益	1	5
四半期純利益 (△損失)	△ 1,708	810

Point 1

売上高

消費低迷や天候不順など依然として厳しい環境の中、販売数量は減少いたしました。これにより、売上高は前第2四半期に比べ80億5百万円減少し、1.691億8千2百万円(前年同期比4.5%減)となりました。

Point 2

営業損益

売上高は減少しましたが、在庫圧縮による輸送費削減などのSCM(サプライチェーンマネジメント)関連費用の低減や、グループを挙げて取り組んでいるコスト削減などにより、営業損益は、前第2四半期に比べ26億2千7百万円改善し、12億8千万円の営業利益となりました。

Point 3

四半期純損益

前第2四半期において発生していた当社と営業機能を担う子会社との統合に伴うグループ再編関連費用などの特別損失が、当第2四半期において発生しなかったことなどにより、四半期純損益は、前第2四半期に比べ25億1千9百万円改善し、8億1千万円の四半期純利益となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 平成21年1月1日から 平成21年6月30日まで	当第2四半期 平成22年1月1日から 平成22年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,005	11,957
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,176	△ 5,516
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,427	△ 2,877
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 6,743	3,563
現金及び現金同等物の期首残高	22,412	71,221
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	212	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,881	74,784

Point 4

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、119億5千7百万円のプラス(前年同期10億5百万円のプラス)となりました。前第2四半期においては、需給管理体制の変革に伴い、たな卸資産が増加するとともに、買掛金等の仕入債務が増加しておりました。これに加え、税金等調整前四半期純損益が改善したことなどにより、当第2四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期に比べ109億5千1百万円増加しております。

Point 5

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、55億1千6百万円のマイナス(前年同期121億7千6百万円のマイナス)となりました。前第2四半期においては、大型投資にかかわる支出が発生しておりました。このことが主要因となり、当第2四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期に比べ66億5千9百万円のプラスとなりました。

Point 6

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、28億7千7百万円のマイナス(前年同期44億2千7百万円のプラス)となりました。前第2四半期においては、運転資金として銀行借入を行いました。このことが主要因となり、当第2四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期に比べ73億4百万円のマイナスとなりました。

会社情報

(平成22年6月30日現在)

会社概要

商号	コカ・コーラウエスト株式会社
本社所在地	福岡市東区箱崎七丁目9番66号
設立	昭和35年12月20日
資本金	152億3千1百万円
連結従業員数	7,882名
主な事業内容	コカ・コーラ等清涼飲料水の製造・販売
上場証券取引所 (所属部)	株式会社東京証券取引所(市場第一部) 株式会社大阪証券取引所(市場第一部) 証券会員制法人福岡証券取引所

グループ会社

ウエストベンディング株式会社
西日本ビバレッジ株式会社
コカ・コーラウエストリテールサービス株式会社
株式会社ネスコ
株式会社カディアック
株式会社ウエックス
コカ・コーラウエスト販売機器サービス株式会社
コカ・コーラウエストロジスティクス株式会社
コカ・コーラウエストプロダクツ株式会社
コカ・コーラウエスト大山プロダクツ株式会社
コカ・コーラウエストサービス株式会社
中国ピアノ運送株式会社
株式会社秋吉システムズ

取締役・監査役・経営諮問委員会委員

取締役

代表取締役	末吉 紀雄	会長
代表取締役	吉松 民雄	社長
代表取締役	森田 聖	副社長 企画本部長
取締役	柴田 暢雄	副社長 総務本部長兼人事部長
取締役	太田 茂樹	専務執行役員 財務本部長
取締役	宮木 博吉	専務執行役員 CSR 本部長兼環境・広報部長
取締役	若狹 二郎	専務執行役員 SCM 本部長兼東京事務所長
取締役	桜井 正光	株式会社リコー 代表取締役 会長執行役員
取締役	ビヤーネ テルマン	ザ コカ・コーラカンパニー パンフィックグループ法務顧問
取締役	俵田 憲雄	南九州コカ・コーラボトリング株式会社 代表取締役 社長執行役員

監査役

常任監査役	原田 忠継	常勤
監査役	網塚 忠優	常勤
監査役	三浦 善司	株式会社リコー 取締役 専務執行役員
監査役	佐々木 克	株式会社エフエム福岡 代表取締役社長
監査役	京兼 幸子	弁護士 京兼法律事務所 代表

経営諮問委員会委員

委員長	桜井 正光	株式会社リコー 代表取締役 会長執行役員
委員	魚谷 雅彦	日本コカ・コーラ株式会社 取締役会長
委員	松尾 新吾	九州電力株式会社 代表取締役会長
委員	榎本 一彦	福岡地所株式会社 代表取締役会長 ロイヤルホールディングス株式会社 取締役最高顧問
委員	石原 進	九州旅客鉄道株式会社 代表取締役会長
委員	松崎 隆	弁護士 徳永・松崎・斉藤法律事務所 代表
委員	武藤 英二	株式会社NTTデータ経営研究所 取締役会長
委員	伊藤 邦雄	一橋大学 教授

株主優待制度

(平成22年6月30日現在)

株主優待ポイントで、コカ・コーラ社製品詰合せや 社会貢献活動への寄付などの商品と交換していただけます。

毎年6月30日現在および12月31日現在で100株以上保有の株主さまに対し、保有株式数に応じて「株主優待ポイント」をそれぞれ同年9月頃および翌年4月頃贈呈いたします。「株主優待ポイント」(1ポイント60円相当)は、株主優待サイトや商品カタログの中から、コカ・コーラ社製品詰合せや社会貢献活動への寄付などお好きな商品と交換いただくことができます。

(平成22年6月30日現在で100株以上保有の株主さまに贈呈いたしました「株主優待ポイント」を記載した『株主優待通知書』および「株主優待サービスのご案内」は、本冊子とあわせて送付しています。)

贈呈基準

保有株式数	株主優待ポイント
100 株以上 500 株未満	30 ポイント贈呈
500 株以上 1,000 株未満	40 ポイント贈呈
1,000 株以上 5,000 株未満	60 ポイント贈呈
5,000 株以上	120 ポイント贈呈

(注) ポイントには有効期限がございます。詳しくは当社ホームページをご覧ください。

優待商品例

コカ・コーラ社製品詰合せ



コカ・コーラウエスト
ロゴ入りバスタオル



平成23年度 コカ・コーラカレンダー
(写真は平成22年度版)



「市村自然塾 九州」への寄付



「平成21年12月期 株主優待」における社会貢献活動への寄付のご報告

平成21年12月31日現在で100株以上保有の株主さまに贈呈いたしました「平成21年12月期 株主優待」におきまして、社会貢献活動「市村自然塾 九州」に対し、寄付をお申し込みいただいた方のポイントおよびポイント交換期間内に使用されなかったポイントの合計額を、以下のとおり、「コカ・コーラウエスト株式会社(株主寄付口)」として寄付させていただきましたので、ご報告申し上げます。

※「市村自然塾 九州」は、株主さまからの寄付金を運営費の一部とさせていただき、活動のさらなる充実を目指してまいります。誠にありがとうございました。

	人数	合計ポイント	寄付金額
寄付お申し込み	141名	8,800ポイント	528,000円
ポイント未交換	1,129名	52,900ポイント	3,174,000円
合 計	1,270名	61,700ポイント	3,702,000円



株式の状況

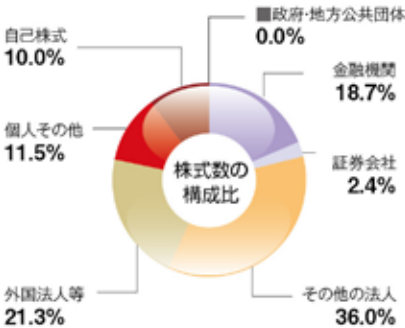
(平成22年6月30日現在)

発行可能株式総数	270,000 千株
発行済株式総数	111,125 千株
株主数	29,592 名

所有者別株式数の状況

	株主数 (名)	所有株式数 (千株)
■ 政府・地方公共団体	1	0
■ 金融機関	65	20,805
■ 証券会社	30	2,664
■ その他の法人	484	40,018
■ 外国法人等	281	23,681
■ 個人その他	28,730	12,804
■ 自己株式	1	11,150

合計 29,592 111,125

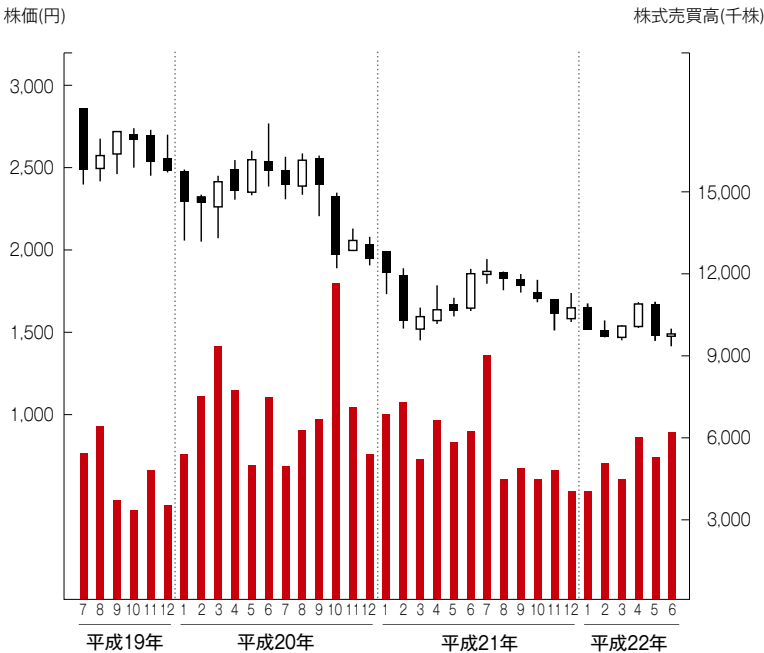


大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社リコー	16,792	16.8
財団法人新技術開発財団	5,294	5.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	4,159	4.2
コカ・コーラ ホールディングス・ウエストジャパン・インク	4,074	4.1
三菱重工食品包装機械株式会社	3,912	3.9
株式会社西日本シティ銀行	3,703	3.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,663	2.7
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C AMERICAN CLIENTS	2,500	2.5
キリンホールディングス株式会社	2,226	2.2
BBH/BLACKROCK GLOBAL ALLOCATION FUND, INC.	1,804	1.8

(注)当社は、自己株式11,150千株を保有しておりますが、上記の表には記載せず、持株比率の算定にも含めておりません。

株価および株式売買高の推移



株主メモ

(平成22年6月30日現在)

- 事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
- 定時株主総会 毎年3月開催
- 基準日
- 定時株主総会 毎年12月31日
 - 期末配当金 毎年12月31日
 - 中間配当金 毎年6月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

(株式に関する住所変更等の届出およびご照会について) 証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人
および特別口座の
口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-176-417

(インターネットホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

(特別口座について) 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法 電子公告により、当社ホームページ(<http://www.ccwest.co.jp/koukoku/>)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



ホームページのご案内 <http://www.ccwest.co.jp/>

当社ホームページでは、株主・投資家のみなさまに向けて、財務情報、IRイベントスケジュール、IR資料など、豊富なIR情報を掲載しております。今後も、見やすく、分かりやすく、使いやすいホームページづくりに努めてまいります。



IRニュースメール
IR最新情報をお知らせします

◆ IR ニュースメール
ご登録いただいた方へ、決算発表、ニュースリリースなどをタイムリーにお知らせしております。

Coca-Cola West

コカ・コーラ ウエスト 株式会社

〒812-8650 福岡市東区箱崎七丁目9番66号
IR室 TEL 092-641-8590
<http://www.ccwest.co.jp/>

